



◆CONTENTS

令和3年度決算審査  
議員の視点は、そして評価は ▶P5~P11

町政を問う ▶P14~P18

議会の挑戦!  
もっと聴く、もっと伝える ▶P19

特集  
青少年  
吹奏楽団 & 町議会



特集

# 青少年吹奏楽団 & 町議会

昭和41年、当時瑞穂中学校の音楽の教員だった牟田先生が卒業生のためにつくったことがきっかけで誕生した瑞穂青少年吹奏楽団。全日本吹奏楽コンクールで4度の金賞受賞や海外での招待演奏など輝かしい実績があります。今でも町のイベントでは素晴らしい演奏を披露して皆さんを楽しませてくれています。

日本一になった時の思い出は一生忘れない。

### Q入団のきっかけは？

— 中学の吹奏楽部の練習が終わると、瑞穂青少年吹奏楽団の練習に参加するのが当たり前のような状況だったので：なんとなくそのまま入団したって感じですね。  
— そうそう、私も中学2年から必然的に準団員になってました(笑)。  
— 演奏を見に行っただけで自分もやってみたくて思いましたが、「高校から楽器を始めても大丈夫かなあ」って不安もありました。そんな時、牟田先生が戻ってくると聞いたので入団を決心しました。

### Q練習の様子はどうでしたか？

— 小学生の時に産業祭でドラクエの曲を演奏していた「身近に楽団があるんだ。なんかいいなあ」って漠然と思ったことを思い出しました。それも入団した理由かな。  
— 牟田先生も臼井先生もしっかりとした理論があったので、分かりやすかったですね。  
— 厳しいより自分の上達が分かってうれい。そんな練習時間でした。

### Q忘れられない思い出は？

— 横田基地の司令官交代式という重要な公式行事での演奏。緊張したけどいい思い出です。  
— 横田基地でのミュージカルの伴奏。英語が苦手で初めは演奏のタイミングが分からなかったけど、しっかり周りの音や声を聞いていたらできるようになりました。「何とかなるもんだなあ」って教訓を得ました。  
— 3回ほど海外から招待されて演奏しました。それも思い出深いです。

## 【団員紹介】

### 北爪 寛之さん

— 高校から入団して、初めて楽器を握り、今は団長として奮闘する努力のチューバ奏者。

### 臼井 弘美さん

— 次の世代を育てるために「サウンドスイミー」を立ち上げ奮闘する熱きホルン奏者&楽団2代目指揮者。

### 八木 秀子さん

— 横田基地、海外での演奏そして今も：楽団と歩み続ける信頼のクラリネット奏者。

### 川島 智徳さん

— 小学生の時に聞いたドラクエの演奏が印象的で話してくれた魅惑のトロンボーン奏者。

### Q今後の目標は？

— 今の活動を続けていくことかな。  
— もっと上手になる。  
— 次の時代を担う楽団員の卵を育てること。今、「サウンドスイミー」という楽団を立ち上げて子どもたちに教えています。初心者でも大歓迎です。

### Q楽団を作ったきっかけは？

— 当時、近隣の高校で吹奏楽部がある高校がなく、演奏したいと願う卒業生の想いに応えようと思ってつくりました。

### Q指導方針は？

— 基本の徹底でした。それから掃除、あいさつなどは厳しく指導してましたね。  
— 演奏会をたくさんしました。一人で演奏するよりみんなと演奏するほうが楽しいですからね。それに、目指す目標があることや、みんなに喜んでもらう機会をつくるのが、やりがいや生きていく自信につながると思いました。

### Qこれからの楽団に期待することはありますか？

— 自分が上手になったら、どうして上手になったかの理由を思い出して、次の世代を育ててほしい。

### Q瑞穂町の名誉町民として一言お願いします

— 瑞穂町が音楽のあふれる町になってほしい。その可能性をこの町の人たちは持っていると感じています。

ご協力ありがとうございました。



### 牟田 久壽さんプロフィール

国立音楽大学卒業。昭和41年瑞穂中学校の音楽教師として赴任。44年に青少年吹奏楽団を創設。吹奏楽全国コンクール金賞4回、銀賞2回受賞。61年より警視庁音楽隊長に就任。平成22年瑞穂町名誉町民になる。



3年度決算を  
認定

2日間にわたり  
延べ137件の質疑  
3日目に議員間討議

今回の議会には、令和3年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議においてすべての会計ともに全会一致で認定しました。



**決算特別委員会で審査**  
議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、委員長に下野義子議員、副委員長に香取幸子議員を選出。議長、議会議長に監査委員を除く、13名により、2日間にわたり町側へ質疑し、3日目に議員間討議を行いました。

賛成討論

香取幸子議員

3年度の予算執行全般にわたり、コロナ禍、世界情勢不安など、大変厳しい状況の中、多くの事業展開を心掛け、当初の方針通りに達成できていたと評価する。地域経済の活性化事業、みずほまるの登場、図書館のリニューアルオープンなど、明るい話題につながる事業も多かった。

| 会計名     | 歳入               | 歳出               |                 |
|---------|------------------|------------------|-----------------|
| 一般会計    | 165億8,915万6,085円 | 159億2,968万8,615円 |                 |
| 特別会計    | 国民健康保険           | 35億6,419万7,372円  | 35億2,806万9,722円 |
|         | 駅西土地区画整理事業       | 14億3,566万6,036円  | 13億6,773万9,116円 |
|         | 介護保険             | 24億6,646万3,268円  | 24億5,773万6,469円 |
|         | 後期高齢者医療          | 7億5,388万9,694円   | 7億4,539万5,778円  |
|         | 殿ヶ谷財産区           | 274万2,180円       | 210万3,500円      |
|         | 石畑財産区            | 896万3,463円       | 811万1,628円      |
|         | 箱根ヶ崎財産区          | 477万3,928円       | 365万7,866円      |
| 長岡財産区   | 79万5,663円        | 51万8,324円        |                 |
| 会計名     | 収益的収入            | 収益的支出            |                 |
| 下水道事業会計 | 11億7,835万6,747円  | 10億8,720万6,690円  |                 |
|         | 資本的収入            | 資本的支出            |                 |
|         | 2億5,840万8,280円   | 4億4,864万3,000円   |                 |



リニューアルされた図書館

pick up 1

議案第48号 瑞穂町高校生等の医療費の助成に関する条例

都が令和5年度から3年間に限り経費を負担…その後は!?

都は令和5年度から7年度までの3年間、所得制限を設けた上で、すべての区市町村で18歳までの高校生等に対して医療費の助成を開始します。これにより、通院1回当たりの自己負担額が200円になります。なお、町は所得制限を設けません。



Q 町の対象人数と総額は。

A 生活保護、非課税でひとり親家庭等医療費助成を受ける高校生などを除いて、848人で総額1,660万円程度と見込んでいる。

Q 8年度以降は町で負担するのか。町長の見解は。

A この間に、都と話し合いを進めていくが、今のところ全く分からない。今でもコロナ感染対策で各区市町村は自己財源を費やしている。これを町の一般財源で賄い続けられるか懸念している。

pick up 2

議案第53号 令和4年度瑞穂町一般会計補正予算 (第5号)

物価上昇 町長の提案は? 議会の決定は?



Q 羽村・瑞穂地区学校給食組合への負担金を250万円計上しているが目的は。

A 食材価格が高騰しているが、給食費を値上げせずに済むようにする。なお、同様の目的で、町内の保育園・幼稚園には補助金を支出する。また、町立小中学校以外の私立の小中学校に通学されている児童の保護者に対しても公平性の観点から給付金として支給する。

Q 農業者・中小企業者・介護事業所等に原油価格・物価高騰対策として臨時対策補助金を計上しているが内容は。

A 町内の事業者を対象に、農業者は販売価格が50万円以上の販売農家の肥料、飼料、光熱水費など、上限を20万円として補助。中小企業者には、直近の決算書における1年分の燃料費、光熱費の20%に相当する額で、上限を10万円として補助。また、介護事業所には、送迎サービスに要したガソリン代など、10万円を上限に補助する。

※全ての議案の詳細は  
HPでご覧になれます。



# どう使われたか、私たちの

# 税金、議員が総点検

## 歳入

**問 3年度のふるさと納税の状況と返礼品の内容は。**

**財政課長・産業経済課長** 約1,280万円の寄付があった。返礼品は22事業者、45品目で、お茶などのみずほブランド、シクラメン、ゴルフクラブなどの工業製品など。また、ポータルサイトの活用による町のPR効果もあったと考える。

**問 スマホ決済を導入し、予算で400件700万円を見込んでいたが成果は。**

**税務課長** 町民税から国民健康保険税まで、5つの税目で2,830件、金額では約5,474万円であった。

## 子育て

**問 おひさまキッチンの成果は。また、他の学校でも実施の要望はあったか。**

**福祉課長** アンケート調査を行った。子どもたちからは「楽しく食べられる」保護者からは「早起きするようになった」学校側からは「集中力が少し上がってきたのではないか」といった回答を得ている。3年度、他の学校からの要望はないが、新たな学校での実施も考えていきたい。



おひさまキッチン (四小)



討議対象となった施策  
(P8・P9 参照)

## 安全・安心

**問 3年度における女性消防団の活動内容は。**

**安全・安心課長** 女性団員10名中、上級救急救命講習の受講、火災予防週間での広報活動、小学校の防災教育への参加など14回の活動に延べ37人が参加した。



防災教育で活躍する女性消防団員 (三小)

**問 災害対策として備蓄する食料や資器材の3年度の購入実績は。**

**協働推進部参事** 主なものは、アレルギー対応の非常食を概ね2万食、新型コロナウイルス感染対策として、ベッドと間仕切りを購入した。

## 福祉・健康

**問 3年度、高齢者の居場所づくりが1か所開設されたが、成果と今後の展開は。**

**高齢者福祉課長** 週に1回以上の活動、介護予防体操の実施などの条件を満たすことで月4,000円の補助金対象団体となる。今回、長岡南会館で活動が始まった。高齢者の居場所づくりを、各地区にできるように推進していきたい。

**問 コミュニティバス運行となり、福祉バスが廃止になったが、障がい者福祉施設への送迎はどのように対応したのか。**

**福祉課長** 福生警察署や事故防止の講習会も事前に行うなど9月から1か月かけて準備をした。「さくら」は22名、「ひまわり」は8名、「ころぼっくる」は9名の送迎を行っている。

**問 オンラインシステム委託料約630万の成果は。**

**健康課長** 政府がマイナンバーカードを利用して、生涯にわたる健康診査の結果をスマートフォン等で確認できるパーソナル・ヘルス・レコード構想を進めている。そのために必要なシステム改修を行った。

## まちづくり

**問 令和3年度にスタートした町道3号線(役場通り)の無電中化事業の進捗状況は。**

**建設課長** 設計委託を行った。電線の地中化に向け道路共同溝を設置するため、占用位置、試掘箇所の検討や都と補助金認定の協議を行った。

**問 町道の改修工事に約1,800万円、舗装工事に約4,800万円支出しているが計画性を持って取り組んだのか。**

**建設課長** 一時的な補修や大規模な工事案件として都の補助金を使うなど、現場を見て必要に応じて優先順位をつけて行った。舗装工事については総面積で4,919㎡、距離で約1,256mの工事を行った。計画については4年度に道路整備方針を策定中。



道路の打ち替え舗装工事

## 産業

**問 遊休農地はどの程度解消されたのか。**

**産業経済課長** 農地の貸借として、3年度末で26万5,000㎡の利用権設定が行われた。また、農地中間管理事業による農地の貸借が1万296㎡行われた。その結果合計で約2万5,000㎡の遊休農地が解消された。

**問 町のキャラクター「みずほまる」が、町のPRや観光振興にどのように活用されたのか。**

**産業経済課長** コミュニティバスへのプリント、LINEスタンプ、スタンドパネル、職員のポロシャツや法被作成、各種印刷物や町の封筒への印刷などでPRした。産業活性化のため、キャラクター使用のガイドラインを作り、民間事業者や住民が主体となった活用を促進した。

## 教育

**問 学力向上事業の成果は。**

**教育指導課長** 中学校の平均正答率が部分的に全国平均よりも15~20ポイント近く下回った。しかし、小学校の国語や中学校の英語で部分的に全国平均を上回ったものもある。今後、指導体制の充実と授業改善の視点を明らかにする実践的な研究活動を行っていく。

**問 「学びのテーマパーク」「ふるさと学習みずほ学」の推進に向けて、協働推進部や福祉部など他の部署との連携は行ったか。**

**教育指導課統括指導主事** 不足している人材については教育委員会事務局で探したが、他の部署への問い合わせは実施していない。今後は連携していく必要があると思っている。

## 雨水・污水対策

**問 元狭山地区の不明水対策工事が予算に対し設計委託料が約320万円、工事費が約1,400万円と大幅に減額になっているが、3年度の目標は達成できたのか。**

**下水道課長** 当初、補修箇所を200カ所と想定し予算を組んだが、契約前に精査し、約140カ所の改修に絞り込んだため金額が下がった。進捗率は76.2%で、目標を達成することができた。

**問 3年度に駒形ポンプ場の污水ポンプ3台を交換したが成果は。**

**下水道課長** 元狭山地区約6,300人分の污水を大雨の時でも問題なく圧送でき処理場まで送ることができた。大変成果があったと考えている。



交換された污水ポンプ

## 分科会（厚生文教委員会所管分野）

長期総合計画の基本目標2

### 「子どもたちがのびのびと育つまち」

森 委員(座長)、小川 委員、  
近藤 委員、村山 委員、山崎 委員  
香取 委員

施策分野4  
施策2

社会の持続的な発展をけん引する力とグローバルに活躍する人材を育成

学校・地域・家庭の連携が少し不足しているのではないかと。「ふるさと学習みずほ学」は期待できる事業だが、推進するなら全町的な取り組みが必要だ。

分科会での  
主な意見

特に秀でた人材は町の中にもいるので、こういった人々を発掘し、まちづくり、人づくりに協力していただく体制を構築すべきだ。



町で行われた体験学習

町側への質疑の中でも連携が不足していると認める内容もあった。

主要施策の中で数値目標を設定できるものはしっかり設定したほうが、後々検証することもできるし、過程も見えてくる。このことも提言すべきだ。

庁内の横のつながり、家庭の協力や理解が必要。啓発が重要になってくる。

※分科会での討議の結果→決算委員長への審査報告に討議内容を盛り込む。  
なお、所管の厚生文教委員会では、これまでの調査結果を精査して、具体的な提言や提案につなげていく。

施策分野5  
施策1

全ての児童・生徒に確かな学力を育む

学習の効果が上がっている団体を調べると、家庭の教育力向上に力を入れている。家庭の意識の差が大きいのでは。

分科会での  
主な意見

長年、学力向上施策を実施しているが、成果が見えてこない。



委員会での現地視察(二中)

「学びのテーマパーク」では、支援員の人材の確保や進め方について、検討すべき段階にきている。

家庭の教育力を高めるための施策が必要ではないか。保護者の意識を変えていかなくてはならない。

※分科会での討議の結果→決算委員長への審査報告に討議内容を盛り込む。  
なお、所管の厚生文教委員会では、子育てのときから親を教育する視点、子育てについての保護者への教育が学力向上につながっていくという調査結果を基に、具体的な提言や提案につなげていく。

## 成果は上げられたのか 議会の判断は！



討議の様子

決算特別委員会3日目は、討議事項を抽出し全委員で討議を行いました。今回は、これまでの事業内容の評価から、「長期総合計画の目標実現に有効な施策展開ができたといえるか」という視点に立って総務産業建設委員会、厚生文教委員会のそれぞれ所管する内容について分科会方式で討議を行いました。分科会での討議終了後、両委員長より討議結果について報告があり、全体でのコンセンサスを図りました。

## 分科会（総務産業建設委員会所管分野）

長期総合計画の基本目標6

### 「便利で快適に暮らせるまち」

石川 委員(座長)、下澤 委員、  
大坪 委員、下野 委員、村上 委員、  
原 委員

施策分野4  
施策2

町道等の整備と適切な維持管理

狭あい道路（車道や歩道が狭い道路）の積極的な解消、生活道路の打ち替え舗装の計画的な実施をしていただきたい。

分科会での  
主な意見

生活道路についても、狭いところがある。

30年から40年経っている生活道路がだいぶ傷んでいるので、舗装の打ち替えを順次、計画性を持って取り組むべき。

町は道路の整備については委員会からの要望書を受け、5年度から14年度まで整備計画を立てることになっている。その計画内容が基本目標に合致しているか注視していく必要がある。



改修された狭あい道路

※分科会での討議の結果→決算委員長への審査報告に討議内容を盛り込む。



納得度85%

**教育の充実**

学力向上事業は概ね評価するが、学校と教育委員会などとの方向性、連携および情報共有に課題がある。



納得度90%

**臨時交付金の活用**

新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金を活用して、武道館に空気清浄のための空調設備が設置された。



納得度75%

**コミュニティバス**

コミュニティバス実証実験運行の結果の中間発表、効果的・効率的な住民意見聴取策の検討を望む。



**古宮 郁夫 議長**

新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威を振るった令和3年度の町政運営を、議員はどう評価したのか。各議員の決算納得度と注目事業についてご紹介します。

納得度80%

**町民・中小企業支援**

「プレミアム付き商品券」販売、中小企業への支援事業など努力がみられた。引き続き今後の対策に期待する。



香取 幸子議員

**令和3年度の**

**町政運営**

**議員はこう**

**評価した!**

納得度80%

**まちづくり**

厳しい財政状況の中、堅実な運営は評価できる。並行し大胆な都市計画事業の推進に期待する。



村上 嘉男議員

納得度75%

**子育て、高齢者福祉**

健全財政は評価。多摩地域でも上位にある基金で、さらなる保護者負担軽減策や高齢者支援策に使うべき。



大坪 国広議員

納得度80%

**安全な都市整備**

町の道路維持管理委託費をこの程度の金額で進めていることは評価するが、側溝改修が課題である。



小山 典男議員

納得度85%

**コミュニティバス**

コミュニティバスの実証実験は評価できるが、コースによっては課題が大きく、さらなる工夫が必要。



小川 龍美議員

納得度90%

**国からの交付金の有効活用**

地方創生臨時交付金の各種事業への効果的な活用や図書館リニューアルに向けた取り組みは評価できる。



下野 義子議員

納得度90%

**地域コミュニティ**

コロナ禍にあって適時的確な行財政運営に努めたことは評価。今後、地域の協力体制づくりが課題である。



山崎 栄議員

**監査委員**

コロナ感染症対策への財政出動が顕著な年度になりました。



榎本 義輝議員

納得度80%

**図書館運営**

リニューアルオープンし、好評な図書館であるが、西多摩地区図書館の広域利用の促進を図ってほしい。



近藤 浩議員

納得度80%

**産業活性化**

成長産業への誘導、人材の発掘、活用、育成に向けた横断的な取り組みに期待したい。



森 亘議員

納得度80%

**安全・安心**

町内全域を青色回転灯装備車により二人体制で365日巡回し、犯罪抑止に努めている。



石川 修議員

※監査委員は決算特別委員会には参加しません。

# どう判断する、新たな2つの陳情！

## 国の建設アスベスト被害の給付金制度は不十分か！ 厚生文教委員会

「建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める、国への意見書を求める陳情書」

### 委員会での 主な意見

最高裁の判決では、国とアスベスト製造業者の責任は認められ、支払い義務も科している。しかし、アスベスト被害者は建設関係だけではなく、震災後のボランティアや廃棄物処理業者も被ばくしている可能性が高い。建設アスベスト被害者に限定するのはどうかと思う。

WHOがアスベストの危険性を指摘していたのに規制することなく使用を許可し続けた国の責任は当然だが、労働組合側も急激な規制は雇用不安を招くと、当時規制に反対している。

【陳情者】 東京土建一般労働組合西多摩支部  
執行委員長 宮崎 透

### 【陳情の趣旨】

現在のアスベスト給付金法は支給対象者などに屋外で働いていた建設アスベスト被害者や国の賠償責任期間の直前で現場を離れた被害者などが入っていない。建設アスベスト被害者の全面救済に向けた法改正に取り組むように国に意見書を出してほしい。

アスベスト製造会社と被害者との間で、現在裁判で係争中であることや、法律ができて間もないことなどから、継続して調査するべきでは。

委員会での審査・採決  
継続審査

本会議での審査・採決  
委員長による審査内容の報告

採決の結果  
継続審査

## 当選した首長や議員に「サービスの宣誓」が必要か否か！ 総務産業建設委員会

「瑞穂町特別職のサービスの宣誓に関する条例の制定を求める件」

【陳情者】 立憲共和党 代表 角田 統領  
【陳情の趣旨】

瑞穂町の首長や議員は有権者の選挙によって選出されたのだから、条例を制定して、当選証書の付与に際して「地方自治の本旨を体するとともに公務を民主的能率的に運営するべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を遂行することを固く誓います。(抜粋)」という「サービスの宣誓」をするべきである。

### 委員会での 主な意見

地方公務員法では、特別職はサービスの宣誓について適用除外となっているので、陳情の内容は法の範囲を超えることになるのでは。

町長や議員は、選挙の際に公約を掲げて政治活動するものであり、職員と目的が異なる。

当選した町長や議員は、それぞれの主張のもとに町民のために働いている。

委員会での審査・採決  
不採択

本会議での審査・採決  
委員長による審査内容の報告

採決の結果  
不採択

陳情

## あの陳情はどうなった！

「海の日」を7月20日に固定化 or ハッピーマンデー継続か。議会の決断は！

6月に総務産業建設委員会で審査した「国民の祝日『海の日』を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情」が総務産業建設委員会で継続審査になり、今回、改めて同委員会で審査することになりました。

【陳情者】 海事振興連盟会長 衛藤 征士郎

### 委員会での 主な意見

今回、改めて町民の方々にこの問題を聞いてみましたが、そのほとんどの方々は連休がいいとの回答であった。

明治天皇の巡幸が「海の日」の理由の一つとされている。連休がなくなれば「海の日」への意義や意識が喪失されるというわけではない。

ハッピーマンデー制度導入の理由の一つには観光による経済効果がある。現在、コロナ感染拡大で疲弊した経済状況を考えると、このまま継続の方が好ましい。

先進国の中で日本は最も休暇が少ないといわれており、政府は働き方改革を進めている段階である。連休はそうした意味からも必要である。

本来、国民全体に影響する問題は世論調査や国民的議論があって判断されるものである。

委員会での審査・採決  
不採択

本会議での審査・採決  
委員長による審査内容の報告

採決の結果  
不採択

### その他の陳情

| 番号     | 件名                                   | 付託先     | 結果   |
|--------|--------------------------------------|---------|------|
| 4陳情第3号 | 瑞穂町議会会議規則に「議員が紹介議員を任命する」を加える改正をもとめる件 | 議会運営委員会 | 継続審査 |
| 4陳情第6号 | 条例制定義務の課題を明らかにすることを求める件              | 議会運営委員会 | 継続審査 |
| 4陳情第8号 | 陳情書                                  | 議会運営委員会 | 継続審査 |

下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

瑞穂町行政における民間活力の活用について



町長 導入に関するガイドラインを策定中



質問 町の公共施設に... 参考にして長期的効果... 民間活力導入の可能性を模索し、時期を逃さぬよう前向きに検討していく。



職員によるプロジェクトチームの町長への報告

質問 昨年から身近な方からも带状疱疹になり苦しんでいる話を多く聞くようになった。現在、国では定期接種化するワクチンの検討がされている。健康寿命の延伸には疾病予防のための予防接種は重

要である。そこで、次の点について所見を伺う。問① 今年4月から積極的勧奨を再開した子宮頸がんワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種状況と接種の周知や啓発について。問② 带状疱疹ワクチンなどの任意接種費用の負担軽減について。町長 带状疱疹ワクチンの予防接種費用の負担軽減措置については検討を開始している。今後も適切に疾病予防対策を講じていく。

健康維持のための予防接種の推進を



町長 適時適切に疾病予防対策を行っていく



ワクチン接種

榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

部活動の地域移行に



教育長 都の推進計画に沿った指導体制で臨みたい



質問 6月6日にスポーツ庁は運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言を公表した。その提言は、平日の運動部活動の地域移行についても視野に入れないながら、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とし、その取組の進捗状況などを検証し、さらなる改革を推進すべきというものである。部活動は生徒のためのものであることは言うまでもなく、我が町の中学校のすべての部活動についての見通しと対応・対策を伺う。教育長 令和4年4月、「瑞穂町部活動基本方針」を改訂し、教員以外の適格者が直接指導

原 隆夫 議員 (公明党)

スクールゾーンの規制時間等の改定・見直しを



教育長 規制時間や区間の見直しは考えていない



一小南側の道路標識

質問 スクールゾーンは通学中の子どもたちの安全を確保する安全対策の重点地域として昭和47年から運用が開始された。登下校時間帯に車両通行禁止を設けている学校区もあるが車両利用者から規制



部活動の様子 (瑞中)

下野 義子 議員 (公明党)

### 子どもたちにさらなる 体験の創出を



**町長** 島の子供たちへの負担も考える  
必要がある



**質問** 多摩・島しょの魅力を高め、子どもを対象とした高度で大規模な感動体験を提供する事業への助成事業がある。これを活用して羽村市は八丈町、奥多摩町は神津島村、檜原村は利島村、日の出町は新島村と交流し、子どもたちが学校や家庭以外かつ自然環境の違う場所で普段体験できない非日常を体験する中で大きな感動と生きる力を育む事業を行っている。我が町もこうした体験事業に取り組み、子どもたちの育成につなげては。

革により廃止となった。瑞穂青少年小笠原探検隊は多摩・島しょ子ども体験塾事業を活用し、平成18年度から4年間実施した。一定の成果が見られたということが多摩・島しょの子ども体験塾の助成制度がなくなり終了した。新たな島しょ部との交流事業は、事業が重なることでの島の子供たちへの負担や、船が欠航

での投票の呼びかけなどを実施している。  
**問③** 歩行が困難で投票所へ行けない町民に、移動手段の確保は。  
**町長** 行政ですべて対応することは難しい。  
**問④** 選挙の大切さを若者へ啓発する取り組みをするべきと考えるが。



**こんな質問もありました**  
**帯状疱疹予防接種費用の公費助成を**  
**町長** ワクチンの安全性と効果は確認できる段階であり、導入時期の検討を続ける。

**質問** 2018年の調査によると、全国の空き家の割合は過去最高の13・6%となり、2033年には25・5%まで上昇すると試算されている。我が町も空き家問題を先送りせず早急に対策を講じるべきと考える。空き家の実態調査や所有者の意向調査をはじめ、空家対策計画の策定、空き家バンクの創設、空き家の活用のほか、空き家を発生させない取り組みなどについてどのように推進していくのか、町長の所見を伺う。

小川 龍美 議員 (公明党)

### 空き家バンクの創設と空き家の活用等に早急に取り組むべき



**町長** 私もこのままでいいとは思っていない



**町長** 近隣の空き家バンクでは、登録件数が少なく、ニーズに適した物件が少ないなど、設置だけでは効果が薄

森 巨 議員 (自民誠和会)

### 長期総合計画の進捗状況 と具体的対策は



**町長** 連携で可能性は拡大する

**質問** 町の最上位計画である第5次長期総合計画が策定され、約1年半が経過した。この間、新型コロナウイルス感染拡大やロシアのウクライナ侵攻に起因する国内経済への影響など、計画の円滑な執行を阻害する要因が発生している。  
**町長** 町の魅力と実力を発信するため計画の推進体制を整え施策を展開している。課題は成果目標の確認であり、4年度から計画の分野別の検証を開始した。  
**問②** 優先すべき事業は。  
**町長** 第1に町民の命と健康を守る。第2に教育・福祉施策等各種

大坪 国広 議員 (日本共産党)

### 投票率向上への取り組みについて

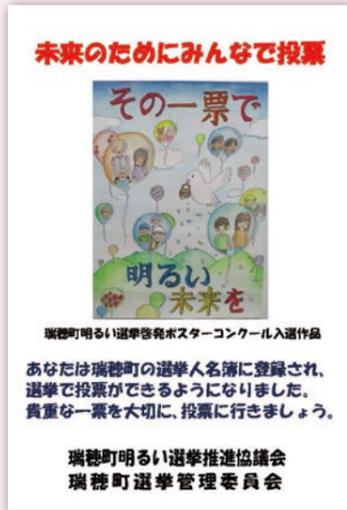


**町長** ウィークポイントを絞って啓発



**質問** 7月10日執行された参議院議員選挙の町の投票率は、東京都で最下位の結果となった。町としても危機的な状況として捉え、投票率向上への取り組みをするべきである。次の点について町長の所

見を伺う。  
**問①** この1年間の国政選挙の投票率をどのように捉えているか。  
**町長** 二つの国政選挙とも投票率は都内最下位となっている。  
**問②** 現在の投票率向上への具体的な取り組みは。  
**町長** 18歳へのパスデーカード送付時や成人式での記念品の贈呈時などでの啓発。児童・生徒には「明るい選挙ポスターコンクール」の作品募集。選挙期間中は、ツイッター



パスデーカード送付時の啓発

このような状況の中でどのよう  
に計画を遂  
行し、その  
ためにどの  
ような対策  
を講じてい  
く考えか、  
次の3点を  
町長に伺う。  
**問①** 計画  
の推進状況  
と現状の課  
題は。



長期総合計画の将来都市像

# 議会の挑戦！もっと聴く、もっと伝える… そのために広報広聴の機能強化へ…

## 政策研究会調査部調査結果

リーダー：小川 龍美 サブリーダー：大坪 国広  
スタッフ：森 亘、下野 義子、村上 嘉男、香取 幸子

政策調査部では、広報広聴機能の充実に向けて調査を重ねてきました。また、2月と8月には、広報広聴の専門の委員会を組織している先進的な議会を視察しました。読者をひきつける紙面づくり、SNSの活用、町民の議会参加など、改めて専門の委員会の必要性を痛感しました。約1年にわたる様々な調査結果から、調査部では広報広聴を専門とする委員会の発足が望ましいとの結論に至りました。



三芳町議会視察

### ～議員と話そう～

## 「みずほ まちなか会議」開催に向けて準備中

### 総務産業建設委員会

日時：1月21日(土) 午後7時～  
会場：役場1階ホール

テーマ 町の活性化にむけて

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催方法などが変更となる場合もあります。  
最新の情報は議会ホームページでご確認ください。

### 厚生文教委員会

日時：1月22日(日) (時間未定)  
会場：役場1階ホール

テーマ 支え合い、助け合う  
幸齢社会



ご参加を心よりお待ちしております。

**香取 幸子** 議員 (自民誠和会)

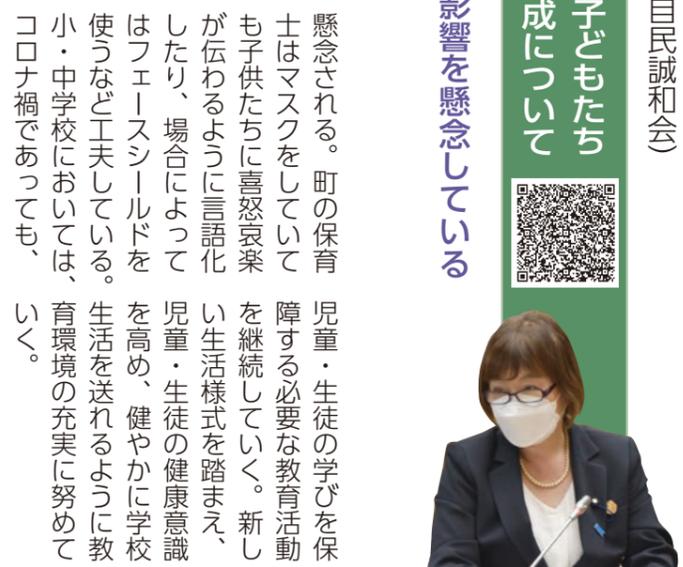
**「コロナ感染対策と子どもたちの健全育成について」**

**町長** 心の発達への影響を懸念している

**質問** 新型コロナウイルス第7波で、感染が爆発的に拡大し、子どもへの感染も急増している。長引くコロナ禍で子どもの生活は、多くの制限による我慢の毎日だと考えられる。このような状況下での子どもの育ちについて、影響があるのではと心配する声が多く届いている。そこで、保育、教育現場での子どもの現状と、コロナ禍での生活には子どもの育ちにどのような影響があり、どのような対策を行っているのか、町長、教育長の所見を伺う。

**町長** 感染の繰り返し、後遺症に加え、コミュニケーション不足による心の発達への影響が懸念される。町の保育士はマスクをしていても子供たちに喜怒哀楽が伝わるように言語化したり、場合によってはフェースシールドを使うなど工夫している。小・中学校においては、コロナ禍であっても、

児童・生徒の学びを保障する必要な教育活動を継続していく。新しい生活様式を踏まえ、児童・生徒の健康意識を高め、健やかに学校生活を送れるように教育環境の充実に努めていく。



### 基地対策特別委員会

## 瑞穂町と瑞穂町議会 合同による要望活動

8月3日、町と共に防衛省・外務省・総務省・環境省へ要望活動を行いました。主な内容はC-130やCV-22オスプレイの低空および旋回飛行・夜間および早朝の飛行訓練の中止、今後のCV-22オスプレイの配備の情報提供や低周波音の調査の実施、住宅防音工事に関して住宅防音区域の拡充、対象家屋の拡大や工事の早期実施など、住民の生命と環境の安全確保と迅速かつ正確な情報提供を強く要望しました。さらに基地内での新型コロナウイルス感染症や新たな感染症等の発生状況についても速やかな情報提供と感染防止対策の徹底を求めました。



左から 杉浦町長、下野委員長、扇谷北関東防衛局長、古宮議長

# 月1でスポーツニッポンに紹介される創作料理職人

父の跡を継いで寿司を握る長谷川さん。ある日、スポーツニッポンで釣りの情報を担当している方がお店に来られて意気投合。「釣りたての新鮮な魚を食材に調理してみないか」とのお誘いを受けました。その日から月に1度、釣ったばかりの旬の鮮魚を使った創作料理が紙面で紹介されるようになりました。「試食会でのおいしいの声と満足そうな笑顔に励まされます」と語る長谷川さん。今日も新たな「食」の可能性を追求しています。



アカイカと夏野菜のサンドイッチ  
とゲソの冷製スープ

長谷川 勇一さん  
(箱根ヶ崎)



次回 **12**月定例会(予定) 12月1日～14日

次の定例会は  
**12月1日(木)～**  
午前9時30分開会

| 日         | 月                       | 火             | 水                   | 木                         | 金                       | 土  |
|-----------|-------------------------|---------------|---------------------|---------------------------|-------------------------|----|
| 13<br>11月 | 14                      | 15            | 16                  | 17<br>請願、陳情の<br>受付締め切り日   | 18                      | 19 |
| 20        | 21                      | 22<br>議会運営委員会 | 23                  | 24                        | 25                      | 26 |
| 27        | 28                      | 29            | 30                  | 1<br>12月<br>本会議<br>(一般質問) | 2<br>本会議<br>(一般質問・議案審議) | 3  |
| 4         | 5<br>本会議<br>(一般質問・議案審議) | 6             | 7<br>総務産業建設委員会      | 8<br>厚生文教委員会              | 9                       | 10 |
| 11        | 12<br>議会運営委員会           | 13            | 14<br>本会議<br>(議案審議) | 15                        | 16                      | 17 |

■本会議、委員会の開始時刻は、午前9時30分からです。なお、上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴にお越しの際は、電話またはホームページで日程などをご確認の上、ご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

## 編集後記



ロシアのウクライナ侵略から8カ月が過ぎましたが、いまだに終わりが見えません。戦地では、子どもや障がい者などの社会的弱者はどうしているのだろう。そう思うと心が痛みます。

コロナ禍で各種行事が中止になる中ですが、機会を捉えて平和の大切さを次の世代に伝えていきたいです。これからも親しまれ、読まれる紙面づくりに編集委員一同頑張っていきます。

文：大坪 国広

編集委員  
山崎 栄 森 巨  
大坪 国広 小川 龍美  
村上 嘉男 香取 幸子



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335  
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433  
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp